

【別記5】令和2年度 事業報告

(1) 第2回定時総会の開催

令和2年6月20日(土)府中キャンパスにて第2回定時総会を開催した。(出席者10名・決議書提出者132名)議事内容は、審議事項1:議事録署名人名選出の件。審議事項2:2019年度 貸借対照表(案)及び損益計算書(正味財産増減計算書)(案)の件。報告事項①:2019年度 事業報告の件。報告事項②:2019年度監査報告の件。審議事項3:規則の改正(案)の件。審議事項4:選挙管理委員選任の件。報告事項③:令和2年度 事業計画の件。報告事項④:令和2年度 収支予算の件。その他

(2) 令和2年度各種会議の開催

理事会を令和2年5月と7月に理事全員が書面又は電磁的記録により決議書を送付する形式で開催し、11月及び令和4年3月にWEB会議システムを利用する形式で開催した。令和2年11月に副会長懇談会・部会長会をWEB会議システムを利用する形式で開催した。支部長会議と臨時総会はコロナ禍の影響で開催できなかった。

(3) 同窓会組織の強化及び活性化

- 1) 一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるようにした。
- 2) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信 99号」を8月1日に発行し、「農工通信 100号」を1月1日に発行した。
- 3) 運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣は、コロナ禍の影響で行えなかった。
- 4) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を引き続き検討した。
- 5) 卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助した。
- 6) 同好会活動の充実に努めた。
- 7) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会ホームページにある「会員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねた。次年度に新たにこうほう支援室を立ち上げ、大学と連携・協力しながら、各地域や職場で活躍している同窓生の情報を発信することとした。
- 8) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施した。
- 9) 歳出削減に努めた。

(4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット(入学時及びペーパーンツデーにて配布)及び同窓会ホームページによるPR活動に努めた。
- 2) 分収林返還後の旧分収林の利用についてはコロナ禍と林道の崩壊の影響で進捗はなかった。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行った。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行った。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表した。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈した。

(5) 準会員に対する援助、新入一般会員歓迎行事の継続実施

大学と協力しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等を行うことで、同窓生となる準会員(学生)に対して、就職支援等の充実に図った。

準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等
援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。

(6) その他

1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行った。

2) 校歌・寮歌のホームページ上での紹介方法等について検討を行った。

3) 新型コロナウイルス感染症による修学困難学生支援を目的として、同窓会から「農工大学基金」に
500万円を寄附した。また、同窓会会長と農工大学学長名で同窓会会員に寄附の呼びかけをしたところ、500人
以上の方から3,000万円を超えるご寄附があった。

4) 第2回代議員選挙を実施し、11月16日すべての候補者の当選が確定した。

【別記7】令和3年度 事業計画

(1) 第3回定時総会の開催

令和3年6月19日（土）府中キャンパスにて第3回定時総会を開催する。

議事内容は、審議事項1：令和2年度 貸借対照表（案）及び損益計算書（正味財産増減計算書）（案）の件。報告事項①：令和2年度 事業報告の件。報告事項②：令和2年度 監査報告の件。審議事項2：規則の改正（案）の件。報告事項③：理事会承認の規則の件。審議事項3：今後の予算の在り方の件。審議事項4：会長・理事・監事選任の件。報告事項④：令和3年度 事業計画の件。報告事項⑤：令和3年度 収支予算の件。報告事項⑥：特別会員の推薦報告の件。その他

(2) 令和3年度各種会議の開催

令和3年5月、6月、11月及び令和3年3月に理事会を、令和3年11月に副会長懇談会・部
会長会を開催する。令和3年6月に臨時支部長会を開催する。

(3) 同窓会組織の強化及び活性化

1) 一般社団法人にふさわしい形で、安定した運営が行えるようにする。

2) 部会・支部・職域組織の同窓意識の向上と会員交流の促進を図る方策として「農工通信」の
年2回発行を継続し、学外編集委員と共に内容の充実に努める。

3) 運営委員・監事・事務局長の部会・支部への派遣は新型コロナの感染状況を見ながら可能であ
れば行い、今まで派遣していない支部にも派遣できるようにする。大学役員の派遣依頼にも応
えられるよう大学との連携を図る。

4) 部会・支部活動の活性化のための支援の方策を検討する。

5) 卒業生に対して、大学が発行する証明書の発行手数料を援助する。

6) 同好会活動の充実に努める。

7) 部会・支部のホームページ立ち上げに協力するとともに、同窓会ホームページにある「会
員交流広場」、「ギャラリー」等の活用法及び充実について検討を重ねる。

8) 本年度内に開催される、新卒業生の同期会開催経費（WEB開催可）の支援を行い、若い世
代との情報網を構築する。

9) 入会金・賛助会費等の会費の更なる納付率向上のための方策を検討し実施する。

10) 歳出削減に努める。

(4) 同窓会の課題及び今後の対応

- 1) 学内外問わず、同窓会活動をご理解いただくため、同窓会紹介パンフレット（入学時及びペアレンツデーにて配布）及び同窓会ホームページによる PR 活動に努める。
- 2) 分収林返還後の旧分収林の利用方法について、八王子市役所と協議を継続する。
- 3) 海外支部設置について、検討を引き続き行う。
- 4) 農工通信の未着信な会員について追跡の動静調査を行う。
- 5) 祝電・弔電により祝意・弔意を表す。また、本会の発展に顕著な功績があった者に感謝状を贈呈する。

(5) 準会員に対する援助、新入一般会員歓迎行事の継続実施

大学と協力しながら就活セミナー等の開催や同窓会推薦キャリア・アドバイザー支援の援助等を行うことで、同窓生となる準会員（学生）に対して、就職支援等の充実を図る。

準会員の勉学・学生生活に関して、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝い、学会誌・論文誌発表等援助、優秀卒論副賞等の援助、学園祭・課外活動の援助及び卒業・修了証書カバーの贈呈を行う。

(6) その他

- 1) 改組に伴う部会の組織編成のあり方についてさらに検討を行う。
- 2) 校歌・寮歌のホームページ上での紹介方法等について検討を行う。
- 3) こうほう支援室を立ち上げ、大学と連携・協力しながら、同窓生各地域や職場で活躍している情報を在学学生、高校生、会員等、学内外に広報する活動を開始する。